

## 平成25年度事業報告

### 1 概況

我が国の経済・雇用情勢は、政府の経済政策等により、緩やかに改善・回復が進んでいますが、センターの経営状況は、依然として厳しい状況が続いています。

公益社団法人に移行して2年目となる平成25年度は、センター設立30周年の節目の年となり、記念事業の実施により、これまでのセンターの歩みや会員の皆様の活動を広く市民の方々へPRするとともに、「児童クラブの見守り」や各種ボランティア等の地域貢献活動にも積極的に取り組み、地域を支えるセンターとしての役割を果たしてまいりました。

このような取り組みを進めましたが、年金支給年齢の引上げや継続雇用の導入による60歳代入会者の減少と病気や介護等家庭の事情による退会者の増加により、会員数の減少傾向が続き、特に在籍年数の少ない会員の退会が目立つ状況となっています。企業・団体での実績は、NPOなど他団体への委託や直接雇用、社員活用により契約金額が減少し、家庭においても、少雪の影響により、除雪作業が減少したため、契約件数及び契約額ともに前年を下回る結果となりました。

会員の就業環境を整えるため、請負・委任契約書の見直しと請負・委任から派遣事業への切り替え等適正就業を積極的に推進しました。事故半減への取り組みとして、リーダー研修や安全就業指導員による会員指導、運転業務実技講習を実施しましたが、残念ながら交通加害事故を含め、就業途上の事故が多発したため、事故件数が大幅に増加することとなりました。

今後は、会員の安全を最優先するとともに、お客様から信頼されるセンターとして、人財である会員の増強と仕事の拡大に組み、生涯現役社会の実現に向け、会員と役職員が一体となって事業を進展させてまいります。